Cyber Initiative Tokyo 2022

サプライチェーン攻撃の脅威
～関連会社や取引先に潜むセキュリティリスクに備える～

Dec. 2022

＜セッション概要＞

国内・海外の企業や消費者をつなぐ、グローバルなサプライチェーンがサイバー攻撃の標的となる事例が目立っています。本社や主要事業所だけを固めていても、より小規模な関連会社や取引先経由での攻撃には十分対処できません。

デジタル技術により企業同士の結びつきが強まるサプライチェーンへの攻撃の手法、急速なデジタル化の影で起きている企業間、組織内のデジタル格差が生む新たな脆弱性、経済活動に与える影響などを分析し、対処の思想を確立すべきでしょう。

特に「弱い輪」とされる、地方企業や中小企業も含め、そこに参加する企業がともにサプライチェーンを守るための意識改革、対策をどう実践するかを議論します。

＜サプライチェーンリスク＞

取引先になりすました偽メール

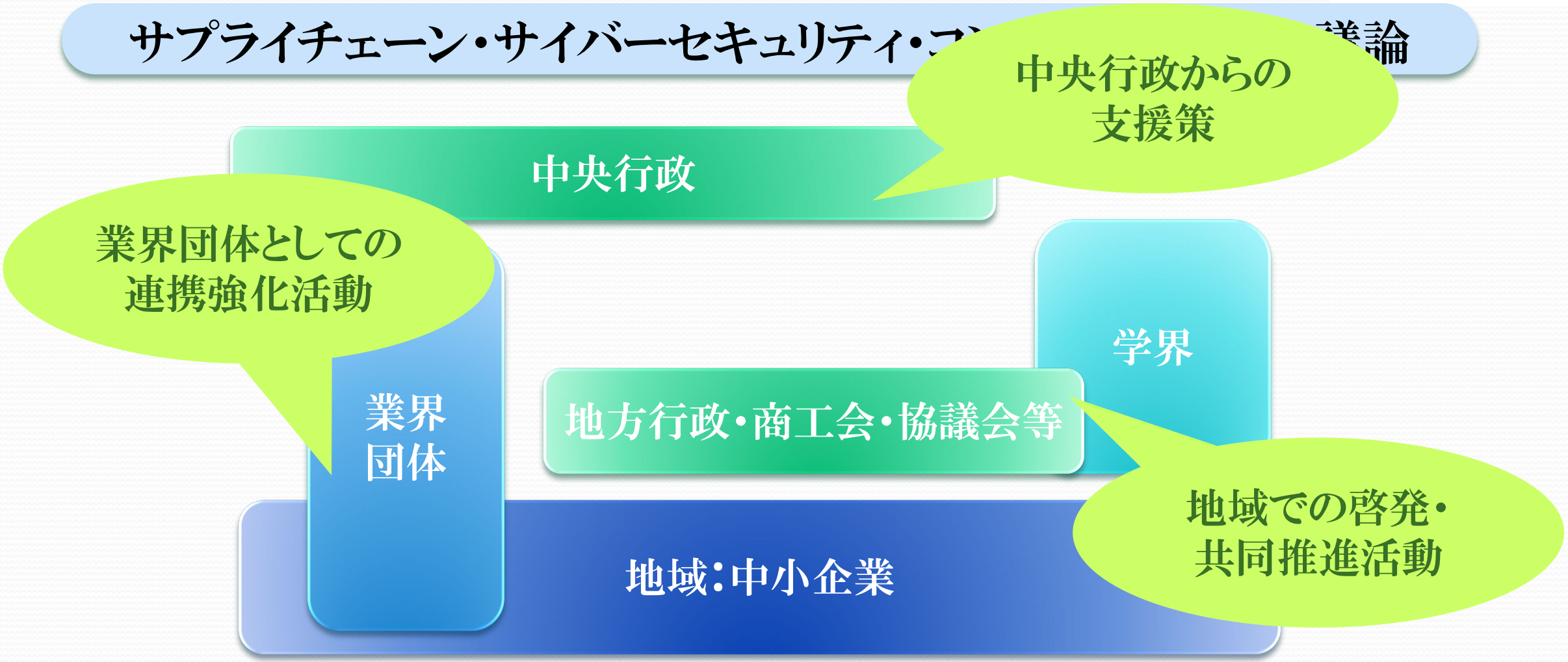
納入部品に仕込まれたウイルス

「クラウド」など外部サービスや委託先を狙う攻撃

主要取引先の業務停止による影響

比較的防御力が弱いとされる中小企業

＜地域・中小企業のセキュリティ対策＞

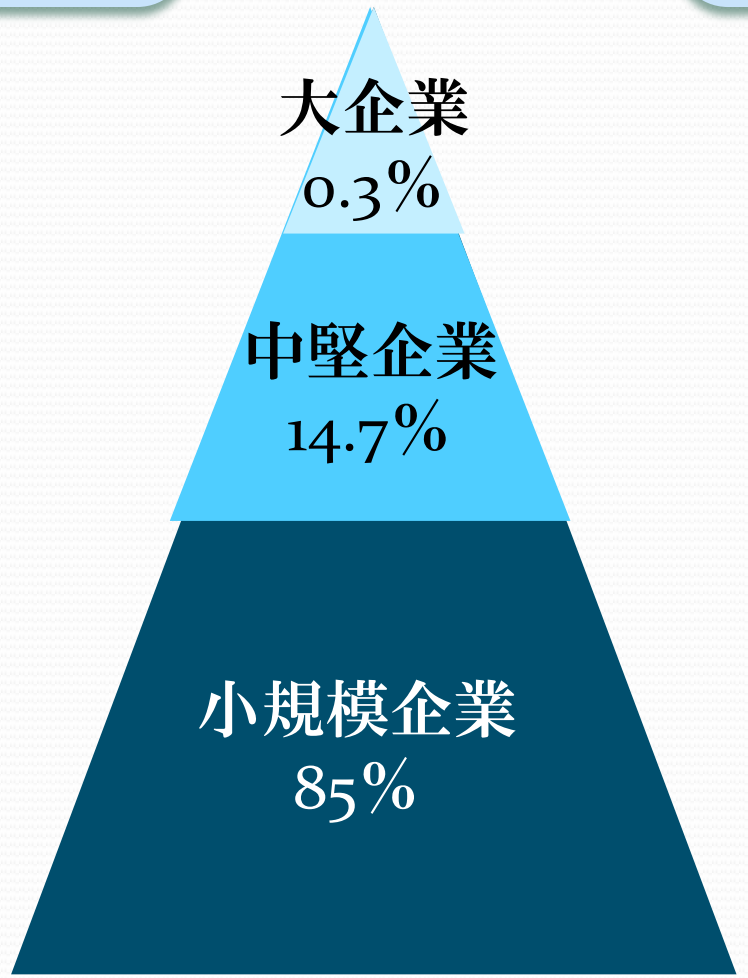


＜企業規模別の問題点＞

経営者の意識

高

？



利用可能なソリューション

Sierからの提案等

行政の支援

＜パネリストご紹介＞

経済産業省　サイバーセキュリティ・情報化審議官
上村　昌博　様

（一社）日本自動車工業会　総合政策部会　ICT部会　サイバーセキュリティ分科会　会長
古田　朋司　様

＜司会＞　（一社）日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会　代表理事
サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム　　運営委員会議長
梶浦　敏範

＜論点＞

中小企業経営者の気付きと、気付いた時の選択肢

大企業と中小企業の連携を阻むもの

ご清聴ありがとうございました。

＜時間配分案＞

00　セッション概要説明　梶浦（本スライド）　7分
07　日本政府の取組み　上村様　7分
14　業界団体の取組み　古田様　7分

21　中小企業経営者の気付きとソリューションについて、お二人に問う　各3分
　　さらに質問　6分
33　連携を阻むもの（公取・国税？）について、お二人に問う　各3分
　　さらに質問　3分
42　とりまとめ兼予備　梶浦　3分